

2011 (平成 23) 年度前期 DUO リーグ会議②議事録

【日 時】 2011 (平成 23) 年 7 月 17 日 (日) 17:00~19:00

【場 所】 筑波大学附属高校会議室

【出 席】 (代表者名。下線は遅刻)

都小石川 (長山)、昭和一 (永井)、三菱養和 (山本)、京華 (小金丸)、都向丘 (末吉)、筑波大附 (中塚)、学習院 (玉生)、豊南 (林)、本郷 (都丸)、城西 (嶋野)、豊島学院 (小島)、郁文館 (井上)、駒込学園 (清水)、巢鴨 (山中)、立教池袋 (橋本)、獨協 (本郷)、都豊島 (丹羽)、淑徳巣鴨 (石原)、都竹早 (蓑田)、日大豊山 (亀井)、都文京 (梶山)、都足立 (安藤)、都江北 (玉山)、足立学園 (伊藤)、都荒川商 (蓑輪)、中大高 (加藤)、文京区中学生選抜 (武藤)、FC 西巣鴨 03 (岸弘)

【オブザーバー：選手】

金井・黒川・林 (筑波大附)

【オブザーバー：一般】

池上 (豊南)、馬場 (巢鴨)、志村 (郁文館)、栗原 (東京リゾスポ)、斉藤 (立教池袋)、北洞 (向丘)、佐藤 (リサイクルプロジェクト)、松本 (日大豊山)、加藤 (中央大学高校)、三ツ矢 (事務局)

【議事録作成】 三ツ矢 (事務局) & 中塚確認・修正

【議 題】

I. チェアマンより

II. 2011 年度前期 (第 31 回) DUO リーグについて

1. 経過・結果報告

- 1) 1 部リーグ … DU リーグ (玉山)、UO リーグ (宮坂)
- 2) 2 部リーグ … DU リーグ (本郷)、UO リーグ (永井)
- 3) チャンピオンシップ

2. 各賞選出

III. 2011 年度後期 (第 32 回) DUO リーグについて

※DUO リーグの入退会について

※レギュレーションの確認

1. 後期参加チーム数
2. 1 部リーグ構成チーム
3. 2 部リーグの編成
4. 各リーグの役割分担と会議日程の決定
 - 1) リーグ日程の確認
 - 2) 第 1 回リーグ会議の日程決定
5. その他の日程と手順の確認

IV. 各部門より—2010 年度報告・2011 年度審議

1. 事業部門 (玉生)

- 1) 競技部 (各リーグ責任者) 2) 審判部 (◎城西・立教池袋・日大豊山) 3) 技術部 (◎都小石川・豊島学院・都竹早)

2. 管理部門 (梶山)

- 1) 経理部 (◎足立学園・豊南) 2) 広報部 (◎淑徳巣鴨・都向丘) 3) 規律部 (◎京華・駒込)

3. 企画部門 (丸山)

- 1) 地域活動推進部

- ・文京区 (◎獨協・昭和一・中大高)
 - ・豊島区 (◎巣鴨・都豊島)
 - ・足立区 (◎都江北・都荒川商・都足立)
- 2) 医・科学活動推進部 (◎都江北・三菱養和・本郷)
- 3) スキンプロジェクト推進部 (◎理事会)

V. その他

<DUO リーグ会議ダイジェスト (決定事項を中心に。詳細は下記参照。) >

◆各リーグ責任者より

- ・大震災の影響で日程調整に難航し、いくつか連戦になってしまったが、全試合消化できた。
- ・教員の異動があったが引継ぎがうまく為されず、リーグ運営で滞った部分があった。各クラブで引き継ぎをしっかりと行うとともに、リーグ責任者が当該リーグの運営に対して責任を持って取り組むことが確認された。

◆前期チャンピオンシップ結果 (7月17日 於筑波大学附属高校)

- 1部：都江北 A 3-1 学習院
 2部：都竹早 1-0 (延長) FC 西巣鴨 03

◆各賞選出

- 1部優勝：都立江北高校 A (7勝→プレーオフ ○3-1 学習院)
 1部 MVP：吉田亮介 (都立江北高校)
 1部得点王：DU リーグ 池田秀平 (江北 A) 9点
 UO リーグ 長手達哉 (学習院) 17点
 2部優勝：都立竹早高校 (7勝→プレーオフ ○1-0 (延長) FC 西巣鴨 03)
 2部 MVP：小林大洋 (都立竹早高校)
 2部得点王：DU リーグ 阿部統 (巣鴨) 9点
 UO リーグ 笠井将宏 (竹早) 5点
 UO リーグ 松川哲郎 (都豊島 B) 5点
 優秀審判賞 … 藤ノ木圭太 (駒込高校)
 特別賞 … 岸卓巨 (事務局長)

◆会場費、費用負担クラブについて

会場費は従来通り、1試合当たり 1,000円とし、主催クラブに支給される。
 また学校外の会場を借りて費用が発生して、それをクラブ員や保護者が費用負担した場合は、試合記録に書く。負担した費用に応じて、ボールが配布される。書かなかったら 0円と判断する。

◆プレミアリーグのレギュレーションについて

- ・試合時間や参加資格などのレギュレーションについて、プレミアリーグは地区トップリーグにあわせて設定する (20人エントリーで9人交代可。自由な交代はない)。

◆1部リーグへの昇格について

- ・1位のチームが昇格を辞退した場合、同リーグの2位が昇格の権利を有する

◆リーグ期間

- ・後期リーグの試合は12月31日まで。23日に DUO リーグ会議
- ・後期リーグの開始は、文書の上では9月1日であるが、例年通り8月末から実施してよい。

◆靴磨き講習会は、後期は全クラブが参加する。担当者は早めに企画し、アナウンスする。

議題Ⅰ．チェアマンより

中塚：今季は3月11日の大震災の影響で、大変だったのではないかと思います。その辺も含めて、各リーグからコメントしていただければと思います。

全国的な動きでいうと、「高円宮杯プレミアリーグ」という名称で、全国を東西に分けたU-18のトップリーグが創設されました。震災の関係等、様々な問題はあるのですが、頂点のところは通年制のリーグができ、その下の「高円宮杯プリンスリーグ」、各都道府県リーグまで整備が進んでいます。このように、全国的にユースリーグのムーブメントは確実に広がっていますが、各地域でリーグ期間や昇降格、レギュレーションの問題など、DUOで起きているのと同様の課題が生まれています。

議題Ⅱ．2011年度前期（第31回）DUOリーグについて（報告・審議）

○1部DUリーグ

玉山：震災以降の予定が変更になった試合が何試合かありましたが、HPのアップ、試合消化は終わりました。その他大きな問題もなく、1部DUリーグは都江北が優勝ということで終わりました。連戦については、都文京が江北の試合が総体の関係で流れ、また雨によってグラウンドコンディションが悪く流れてしまった試合もあり、15日までに終えようと調整した結果、7月9～10日の連戦になってしまいました。

○1部UOリーグ

小金丸（宮坂代理）：震災の影響で開幕戦が流れましたが、グラウンドを持っている学校がこのリーグには多かったもので、無事終わることができました。

震災の影響で期末試験がずれ込んだ学校もありました。連戦になってしまったのは京華の7月15～16日のみです。これは震災のところで活動停止中だったため、開幕から2節まで試合ができなかったことが原因です。7月16日は終了日を越えていますが、17日のチャンピオンシップに影響しないということで実施させてもらいました。

試合間隔を最低48時間はあけるということが守れず、また終了日程を越えてしまったというところで反省すべき部分があると思います。以後気をつけます。

○2部DUリーグ

梶山：試合消化は7月15日までということでしたが、1試合だけ16日に行う形で、全試合終了しました。また48時間あけられなかった試合が4試合あります。全て7月だったので暑さも考慮して、間に給水タイムを設けるなどの配慮をしました。3月中に試合を行うことができませんでしたが、全試合終わることができました。

会場を持っている学校が1チームしかなかったんですが、今回8チーム中7チームが主催クラブとして関わりました。西巣鴨さんにはよくお世話になりました。全チームで分担しようという気持ちがあって感謝しております。ありがとうございます。

○2部UOリーグ

永井：試合結果等を上手く流すことができませんでした。原因として1つは、豊島会場に試合が多く入っており、昨年度までいた江口先生が異動され、丹羽先生に替わったのですが、試合結果をメールで流すという作業が上手くできませんでした。試合会場で話したり、何度か連絡をとったりしたのですが、結果的に上手くできず、僕の方で試合結果を頂いて流すという形になってしまいました。本来ならもう少し早く対処すべきでしたが、時間がたってからの対処になってしまい、大変申し訳

ありませんでした。また震災の影響で連戦になってしまうところもあり、このような所でもご迷惑をおかけしました。

中塚：1部 UO リーグの会計報告をみると、豊島 B 対豊南の試合が不明です。これはどうなっているんですか？

永井：6対0で豊島 B の勝ちです。

中塚：これは何で出てこなかったんですか？

永井：丹羽先生からいただいたファックスの中で漏れていた部分があり、つい先ほど頂きました。

中塚：そこに得点者などの情報もあるのですか？

永井：あります。

中塚：それによって得点ランキングや、審判ランキングが変わってくるというのはないですか？

永井：1位が変わることはありません。

注) その後、未確認試合の結果が明らかになり、得点ランキング1位が2名いることが判明。改めて表彰対象とした(9/7付でチェアマン決済)。

中塚：事業部長からこの一連の事に関して何か

玉生：2部 UO リーグに関しては ML でかなり厳しい言葉で注意してもらいましたが、ホームページが更新されることもなく、試合結果の報告もなく、不安になっていました。ただ聞いてみると、試合は行われているようです。星取表だったり順位表だったり、リアルタイムに反映してください。いろんな人が見てるわけですし、第3者も見てるわけですから、ちゃんとやらなければならない。得点ランキングについても、もしかしたらこの場で1位が変わってしまうという事態になりかねなかった。リーグ運営には当然役割があって、その役割の人が責任を持って仕事をするのが当然です。気づいたところは互いに支えながら、指摘し合いながらやっていかないと、こういうことになってしまいます。各リーグで運営してますので、リーグのところで早く気付いてもっと早く修正すべきだったのではないかと思います。同じようなことが起きないようにしていただければと思います。

中塚：皆さんも玉生事業部長からのメールをご覧になったと思うので、事の重大さ、いろんな人が注目しているんだということはよくわかっていると思います。このようなことが2度とないようにお願いします。

都立の先生には異動があるんですよね。その時に次の先生への引き継ぎがうまくいかないとこのようなことが起きてしまいます。大変なのはよくわかりますが、引き継ぎがなされないとこうなるという典型的な事例であり、真摯に受け止めてください。また、学校の先生が何でもかんでもやってしまうとこのようなことが起きてしまいます。できるだけいろんな人を巻き込んで、学校の先生じゃなくてもできるような環境を作る努力をしていただければと思います。

いろんな人が DUO リーグにはかかわっています。たとえば、DUO リーグ・アウォーズに向けて、クツ創家の佐藤さんやそのスタッフの人たちが、名前入りのレプリカ等を用意してくれています。ちょっと考えればわかりますが、そういうもの(作品)がすぐにできるわけありません。作業する

ための期間が必要です。そのようなことも含めて「7月15日に全試合を終えて、17日のアウォーズに臨む」という形にしていたのです。今回は震災のこともあったので黙認しましたが、15日に終わりといったら15日に終わりです。こだわりを持って、取り組んでください。

○チャンピオンシップについて

中塚：チャンピオンシップについて、勝利チームから。まずは1部。

玉山：前半うちが2点取れて、後半押しこまれるシーンもあったんですが、学習院を振り切ることができました。お世話になりました。ありがとうございました。

中塚：では2部。

蓑田：本当に暑かったんですが、延長戦まで、長山先生（主審）済みませんでした。うちは若いので、西巣嶋さんには負けられないなど。何とか勝つことができました。ありがとうございました。

○MVPについて

中塚：MVPを選出したいと思います。1部は優勝チームからということですが。

玉山：得点王にうちの池田修平が出てるんですが、最終節までずっと無失点でこられたので、日の当らないDFの子を出そうかなと思っております。なので、吉田亮介にしたいと思います。

→ 吉田亮介君に決定

中塚：2部は必ずしも優勝チームからというわけではないのですが、何か提案があれば。

岸：竹早の高校生からお願いします。

蓑田：MVPですが、唯一の高校3年生小林大洋君にしようかなと。今日もPKを決めた子です。

→ 小林大洋君に決定

○優秀審判賞、特別賞について

中塚：では優秀審判賞と特別賞について。まずは優秀審判賞を決めたいと思います。審判部の方から何か推薦はありますか。

嶋野：1部DU、UO、2部DU、UO各リーグで、どなたかあげたい方いますか？

2部DUリーグをみてる感じでは該当者が見当たらなかったのですが、1部DU、UO、2部UOのところ何かあれば。あるいは2部DUの中でも「この人は」という人がいればぜひお願いしたいんですが、いらっしゃいますか？

小金丸：駒込の藤ノ木圭太は、以前もらってるんですけどっけ？

中塚：確か昨年度にもらっていたと思います。

小金丸：1番多いですよ？ 5試合やっています。審判を目指したいという志もあるみたいなので、

いいんじゃないでしょうか。

中塚：どうでしょうか。藤ノ木君のジャッジも特に問題ないみたいですし。2期連続になります。

→ 優秀審判賞は藤ノ木圭太君に決定

中塚：特別賞で何か候補があればと思いますが、いかがでしょうか？

岸（卓巨）事務局長は今どこにいるんですって？

岸（父）：大阪です。

中塚：9月からケニアですよね。特別賞を授与するならこのタイミングかなと思います。餞別代りに。

→ 岸卓巨事務局長に決定

中塚：以上で各賞の選出を終えたいと思います。

議題Ⅲ．各部門より

1. 事業部門（玉生事業部長）

玉生：全試合こなすことができ、ありがとうございました。最後に一つ反省なんです、チャンピオンシップの試合のルールをちゃんと決めてなかったのが、中塚先生に流してもらった試合時間（1部は40分ハーフ、2部は35分ハーフ）でよいかと思ってうやむやにしていました。引き分けだった場合どうするのかなど、全然詰めずにゲームが始まってしまった。2部の方は70分を同点で終え、互いに相談してそのまま延長戦をやりました。当事者同士で決めて行うことはよいと思いますが、あらかじめちゃんと詰めてやらないといけません。反省しております。試合会場のタイムスケジュールも、審判のこともあるので、きちっと事前に決めておきたいと思います。

1) 競技部（各リーグ責任者）

玉生：競技部からは、先ほど各リーグ責任者から報告があったので大丈夫かと思いますが、何か補足があればお願いします。

玉山：先ほど出ました1部DUの会場、審判についてですが、確認したところ、28ゲーム中22ゲームで、6ゲーム不明になっております。なので、該当する先生方、他の会場でやったとか、そういう情報があれば、伊藤先生の方にお伝えください。できればその時に主催、審判もわかれば助かります。この時間内に確認を取ればと思っております。

永井：2部UOリーグについてです。試合結果の件で、丹羽先生、引き継ぎに関してのお話をさせていただければと思います。

丹羽：はっきりいって何もしてないです。何にもわからない。非常に不愉快なんです、何にもわからない状況で勝手にやられて言われて、勝手にやられて、なんだか知りませんが日程だけ決まって、どんどんどんどんやってくれて言われて、どこに結果を連絡してよいのかわからず、という状況です。

中塚：前任者からの引き継ぎは？

丹羽：一切受けてません。

中塚：DUO リーグのメールは届いてますか？

丹羽：最近は届いてます。

中塚：最初の部分の引き継ぎもなされないままなんですね。

丹羽：そうです。途中で知って、他の先生方に聞いたりしました。でもホームページ見てくれて言われてもわからないですし、何にも方法がわからない。江口先生と会うと言っても、学校が変わっちゃってるとそうもいかない。何にもわからないです。ああいうメールが入っていてもどうしてよいかわからない。最後にこういう会議があるから何とかなるんじゃないのか、という認識しか僕の方にはありませんでした。最後に帳尻あってればよいと思ってましたが、そうではないということは、少しはわかりました。

中塚：先ほどは、クラブ内での引き継ぎをしっかりとやってもらいたいという話をしましたが、一方で、いまは各リーグが独立して運営するような形にしているので、2部 UO リーグのリーグ責任者である永井さんが、そのところをきちんと把握して伝えてくれないとだめです。

永井：はい

中塚：2部 UO リーグの結果がアップされていないという状況と、その改善勧告が、玉生事業部長からのメールであり、それでようやく動き出したような形です。そうなる前に、リーグ責任者として、滞ってるところがあるのはどこかに問題があるんだから、しっかりと把握して改善してください。各リーグ責任者の仕事は色々あると思います。各リーグでしっかりできるようにしてください。

玉生：このほか各リーグで何かありますか？ では競技部の方はこれで終わりにしたいと思います。

1) 審判部 (◎城西・立教池袋・日大豊山)

嶋野：3月に筑波大附属高校を貸してもらい、新規の審判講習会を行いました。地震の影響もあって、申し込んだけど参加できなかった生徒もいました。私のところに各クラブへの返金分を本日持ってきておりますので、休んだとわかっているクラブ責任者の方は、会議終了後に私のところまでお願いします。1人3,000円ずつ返金されます。

それからもう1件は、メーリングリストで流したんですが、ユース審判、あるいは今日みたいな DUO リーグのチャンピオンシップなど、DUO リーグ主催の試合への審判派遣を自前でできないだろうかと考え、メーリングリストに審判員募集のお知らせを出させていただきました。各クラブで該当するような現役生徒、あるいは OB がいましたら、添付したファイルに書いていただき、私の方に直接送っていただくか、メーリングリストで流していただければ情報の共有ができるのではないかと考えております。

また、ユース審判の育成に関してです。先ほどの審判ランキングを見てわかるとおり、生徒が審判をしている回数が非常に少ないと感じました。また、生徒が主審をしているときの評価が低いなど感じています。実際、4級の審判資格を持っている生徒がやっているのかどうかまではわかりませ

んが、このような評価が出ているということは問題なのではないかということと、生徒があまり審判をしていないということも問題なのかなと感じます。もちろん、クラブ事情もあると思います。生徒も、やりたがらない、知らないということもあると思います。そういったところをどう解消していくのかということも、ユース審判を育てていく上で避けては通れないと思います。一朝一夕では解決できない問題なので、何か知恵があれば、皆さんからお出しただければと思います。例年3月に行っている新規の講習ですが、そろそろ会場を筑波大附属高校から替えてみてはどうかと思っております。役割分担では、城西が◎（責任者）、そのあと日大豊山、立教池袋が担当になっておりますので、その先生がいる会場に移動するかもしれませんが、開催時期（本当に3月がふさわしいのかどうか）も含め、いま言った3つのことに関してご意見があればお願いします。

玉生：非常に大事な話が出ました。審判を育てるのも大事な役割です。当然ジャッジの問題が付きまとうわけですが、育てるためにはやはりやらせないとだめなので、積極的に生徒にやらせてもらえればと思います。勝敗を争うリーグ戦なので、勝敗を左右するジャッジがあるかもしれませんが、育てるという意味から、こういうことも指導者も選手もやっていかなければいけないと思います。

中塚：ユース審判はずいぶん前から出ている課題です。ユース審判に対する評価の低さは、逆に、先生がやっていると、評価に3とか2とかをつけにくいところがあるのではないのでしょうか。確かに経験を積んでない高校生が笛を吹くのは、安全面からも危険な部分があります。だからユース審判が笛を吹くときには必ず横に大人がついて、何かある前に対処することを約束ごととしていました。それは守っていきながらもう一方で、高校生に審判経験を積ませる工夫が必要だと感じています。たぶん練習試合をするときに、人数が多ければB戦とかをやると思います。そういうところで高校生審判に経験を積ませ、ある程度できそうな生徒がDUOで吹くというような流れができればと思います。筑波大附ではそのように考えて実行しています。日常の活動からいろんな工夫ができると思います。「育てていく」という方向性さえ持っていれば、時間はかかりますができるはずですよ。

玉生：よろしいでしょうか。では、次は技術部、お願いします。

2) 技術部 (◎都小石川・豊島学院・都竹早)

長山：6月4日にDUOリーグ主催のストライカー講習会、ゴールキーパー講習会を行いました。高校1年生のゴールキーパー候補生とストライカー候補生を集めて、駒込高校の宮坂先生にストライカーを、京華高校の小金丸先生にゴールキーパーの講習をお願いしました。当日は、ストライカー29名、ゴールキーパー15名の計44名に、指導していただいた宮坂先生、小金丸先生をはじめ10名近くの先生方に参加していただきました。小金丸先生、何かあれば。

小金丸：たくさんの選手が集まってきて、意欲的にやってくれたので、なかなか良い講習会だったのではないのでしょうか。お手伝いの先生方がたくさんいてくださったので非常に助かりました。ありがとうございます。定期的に続けていく事ができればよいと思います。ゴールキーパーの立場からすると、できれば次回は人工芝でやらせてもらえれば気持ちよく飛べると思います。

長山：ありがとうございます。ストライカー講習の方も、高校1年生がへとへとになるくらい、2時間通して、シュートへの意欲だとか、リバウンドの意識だとか、パスのタイミングだとか、そのようなところを指導していただきました。前回までは、選手を寄せ集めて試合をするという形では活動できていなかったのですが、今回は目的が明確な講習会を開くことができよかったです。指導していただいた先生方に、謝礼というか、そういったものができればよいなと思っています。今日のDUOvsリバーサイド交流戦の審判についても、経理部の方で相談してもらって出していた

できればと思います。

小島：本日行われました交流戦についてですが、リバーサイドと DUO 選抜で試合が行われました。リバーサイドの方は 2 年生のみの 12 人程度の選抜に対して、DUO は 1 年生 23 名、2、3 年生で 23 名、トータルで 46 名。40 分ハーフの試合を 46 人対 12 人でやる形となりました。前半は 1 年生のみでスタートして 0-8、後半はこちらが 2、3 年生を出したところ 1-0、トータル 1-8 で負けてしまいました。ご協力ありがとうございました。

玉生：1 地区の方々の意見はありましたか。感触など。

小島：感触はわからないですが、1 地区は各チームから 1 名ずつ、2 年生のみを選抜したようです。各チームのキャプテンなど中心選手を集めてチームを組んでいましたので、前半はぼろぼろに負けてました。後半は何とか頑張ってくれて 1 点を返すことができました。

玉生：せっかくやるので、1 地区の方々とすり合わせて良いゲームができるとよいと思います。継続してやっていきましょう。ストライカー講習会、ゴールキーパー講習会も、単発ではなくて、悪い点があれば、また改善してやっていければと思います。せっかく来てもらって 1 地区の選手が「8-0 かよ」で帰ってもらってはこっちも申し訳ないので、集める選手のレベルも合わせていければ、良いのかなと思います。じゃあ参加者に感想を。

金井（筑波大附）：1 年なので、前半の最後の 20 分に出たんですが、やっぱり相手は 2 年生ということもあって、全ての面でレベルが違いました。連携もそうなんですが、個々の能力が上で、フィジカルでも負けてるし、一方的な試合で申し訳なかったです。2 年生の方は、同学年なので、寄せ集めなのにちゃんと試合になってました。1 年しか差はないけれども、見習わなければいけないところだと思いました。

玉生：良い機会なので、次につなげていければと思います。費用の件が出ましたが、今日やったチャンピオンシップの費用は出るということで大丈夫ですか？ 経理の方は、もれずに支払いをしてください。交流戦などの費用や手当は、今まではどうしてましたか？

中塚：リバーサイドとは、両リーグの 1 位同士の試合をやったことがあります、その時は 4,500 円ずつ持ち寄って 9,000 円で運営していました。リバーサイドから来られた丹羽さん、覚えてますか？

丹羽：覚えてません。

中塚：通常の審判代より多めに出したと思います。リバーサイドと DUO の双方が出してやったと思います。金額は正確に覚えていないので確認します。

玉生：その話になると、何を出して何を出さないのかっていう話になってきます。ストライカー講習会、ゴールキーパー講習会は半日ばかりでやってもらっているの、何か出せたらいいなと思っています。事後になると出しづらいということもありますし、ちゃんと整備してもらって出せるような体制が作れるとよいなと思います。
事業部門を終わりにします。

2. 管理部門（梶山）

1) 経理部（◎足立学園・豊南）

伊藤：前期の1部 DU リーグの会計資料が遅れてしまってすみません。私の方で、クラブ加盟費や参加費の方は整理しましたが、他のものに関しては本日中にまとめてメーリングリストに流します。クラブ加盟費などの支払い状況ですが、まだ振り込んでいないところは早急にお願いします。

2) 広報部（◎淑徳巣鴨・都向丘）

石原：前期も何とか DUO リーグのプログラムを出すことができました。震災等もあって少し遅れてしまい、申し訳ありませんでした。この場で後期の締め切りも決められればと思います。例年だと選手権期間中を締め切りにしていますが。

梶山：そうすると8月21日の日曜日になりますが。職場のメールを使われている方も多いと思います。

→ プログラム原稿の締め切りは8月22日（月）に決定

3) 規律部（◎京華・駒込）

小金丸：2010年度の後期には退場者が出て、前例にしないということで、DUO 会議に出てもらって DUO の勉強をしてもらうという対処をしました。2011年度前期は、退場者は出ておりません。良かったと思います。後期もクリーンなゲームができればと思っております。以上です。

梶山：管理部門全体を通して何かありますか？

〇〇：施設の使用料の件について確認なんですけど、会場を提供したところにはお金は入ってくると思うのですが、例えば、2部 DU の 36,000 円とか 24,000 円等の費用は、出ませんよね。

中塚：全額支給ということはないですね。

〇〇：学校でグラウンドを持ってないので、こういうところでやるしかないのかなとは思いますが。

中塚：ちなみに、負担された淑徳巣鴨は、グラウンド代はどこから出てくるんですか。

石原：部費です。うちはグラウンドを持ってなくて、6月は埼玉県グラウンドを借りています。そこは安いです。三郷グラウンドは、三郷市であれば半額なんですけど、市外の者だと半額にならない。DUO リーグの試合を6月にどうしてもやりたかったので、なんとか開催したいと思ったところ、たまたま三郷市のグラウンドを見つけて、とりました。

岸：それに関して、それは生徒から取っている部費ですか。

石原：生徒から取っている部費です。

岸：そういうのがかわいそうだなと思って意見を投げかけたことがあります。以前獨協さんは、学校がグラウンドを持っていないということで、学校が負担してくれるということでした。うちが負担するから大丈夫です、と言われて、出してもらったこともあります。それは構わないのですが、グラウンドをこうやって苦労してとるのも大変なうえに、生徒から徴収する部費でまかなっているのは、生徒に対してかわいそうだなと思います。ただ、私立でグラウンドを持っていたら、それは授

業料とかそういうところで払ってるから一緒だろって言えばそうなんですけど、
あまりにも高額なので、もう少し良い方法がないかなというのは前にも言ったんですが。

石原：保護者会で一応会計報告はしており、説明はしています。淑徳巣鴨は、グラウンド費は年間で
大体 30 万くらいかかっています。

中塚：ちなみに部費はどれくらい取ってますか？

石原：年間、大会の登録費込みで 22,000 円です。

玉生：グラウンド費用は、メーリングリストに書くじゃないですか。学校が負担してくれてるから書
くとか書かないとか。うちは学校が負担してるから書かなくていいや、ってところもあると思うし、
学校が負担してても、これだけかかりましたということで書くこともあるのかなと思います。学校
で負担しているのに DUO からもお金が出たりすると二重取りになる。確認しないとそういうこと
になってしまいます。記載の仕方を決めておかないといけないでしょう。これは高額だから支払わ
れない、という風になると、いくらまでなら払うのかというのを決めておかないといけません。

梶山：今は原則、一律 1,000 円となっています。モルテンからの提供ボールを配分するときに、費用
が掛かっているところに優先的に配ろうという趣旨だったと思います。DUO の会計がこの費用を
負担する、という意味で記載するというようなものではなかったと思います。

中塚：学校から出ているところについては 0 円ということで。

梶山：部費など、選手やメンバーが負担しているものについては記載する。

中塚：そういう整理の仕方はできますか？

三ツ矢：前期で、学校外でやったところの何校かに、費用がかかったのか伺ったんですが、うちは学
校から出してるから大丈夫というところもありました。でも、忘れてました、というクラブもあっ
たので、ボール配分に関わるのであれば、学校外に関しては、「学校負担なので費用はかかりませ
んでした」等とちゃんと書くようにすれば忘れることもないのかなと思います。

玉生：僕は 1 部 UO リーグの会計をまとめてたんですが、書いてないのであれば 0 円にしてしまう
というスタンスでやりました。それは、ちゃんと書かなかった方が悪い。0 円と書くのも一つの手だ
と思います。

三ツ矢：それはやりやすい方で、どちらでもよいのですが。

亀井：学校外の場合、基本的に費用は発生すると思います。うちの場合、グラウンドはありますが、
狭くて試合ができるようなグラウンドじゃありません。学校や部費からは出ないので、父母会で集
めたお金でグラウンドを借りています。グラウンド代は場所によって違い、10,000 円かかるところ
や 2~3,000 円で済むところもある。すべて父母会からもらってるのでメーリングリストには書い
ていません。負担した費用は書いて、ボール配分に還元されるという形で良いと思います。

中塚：いま提案があったのはそういう形ですよ。

梶山：会場費はいくらかかろうが、主催したクラブで用意して、一律 1,00 円が DUO から出るということですね。それが分かりやすいと思うのですが。

中塚：そうしましょう。じゃあもう 1 回確認してください。

梶山：クラブのメンバー、およびその保護者が費用負担した場合は書く。その金額によってボールが配布される。書かなかつたら 0 円と判断する。ということでいかがでしょうか。

中塚：では後期から、そうしましょう。ただ前期のボール分配についてもこの考えを適応したいと思います。

3. 企画部門（丸山）

1) 医・科学活動推進部（◎郁文館・三菱養和・本郷）

中塚：企画部長が U-15 リーグの試合と審判が当たっているので本日欠席です。昼間、本校に来られて、企画部門としての話をお聞きしました。

テーピング講習会について。昨年度は、今年の 2 月にずれ込んでしまいましたが、以前は夏休み前にやっていました。できれば今後、そのタイミングでやってもらえないかということです。ただ、今シーズンは震災のこともあって日程が全く取れず、夏前のテーピング講習会については、話すらできませんでした。2 月と言わず、後期のどこか早い段階でやればと思います。リゾスポの学生さんにとっても勉強になると思います。準備してもらってアナウンスしてください。郁文館が医・科学活動のメインになっています。よろしくお願いします。

リサイクルプロジェクトと地域活動推進部についてはあとで取り上げます。

議題Ⅳ. 2011 年度後期（第 32 回）DUO リーグについて

中塚：入退会の話は、今期についてはありません。

レギュレーションの確認です。後期は 1 部リーグを、上位のプレミアリーグと下位リーグの 2 つに分けて構成することになっており、プレミアリーグの方は、できるだけ、上位リーグ（ここでは地区トップリーグ）のレギュレーションに近づけていこうという話でした。

玉生：後期から 1 部リーグをプレミアと、その下のリーグの 2 つに分けます。プレミアと下位リーグを合わせて 1 部リーグとしたい。全体を指す「1 部リーグ」の中にまた「1 部リーグ」があるのはややこしいので、ほかの名前を考えた方が良いという話をしました。プレミアの下はプリンスで行こうかなと思います。よろしいでしょうか。

→ 承認

以前は、地区トップリーグの下に E リーグがありました。地区トップリーグにつながる各地区の最上位リーグに対する指針は E リーグに当てはまり、そこでは地区トップリーグに近い運営をしていました。今回は E リーグがなくなったので、プレミアリーグが DUO の最上位リーグとなります。DUO リーグのルールと一つ異なるのは、特別ルールの「選手」のところですが、20 名エントリーで 9 名交代というのを E リーグも採用していましたが、DUO リーグでは出戻りも含め、自由に交代できるようにしています。そこで、DUO1 部プレミアリーグに限っては、20 名までのエントリーで交代可能は 9 名、出戻り（自由な交代）はなしという形でやりたいと思います。大きな変更点は、これぐらいです。DUO1 部プリンスリーグは今までどおりのルールでいきたいと思います。

次に構成チームを確認します。プレミアリーグ、プリンスリーグを構成するチームは確定していません。プレミアは1部 DU リーグと1部 UO リーグの上位4チームです。プリンスは1部 DU リーグと1部 UO リーグの5, 6, 7位と2部から2つ上がってきた8チームで構成します。1部からは、各リーグ最下位の立教池袋と都江北 B が2部リーグに降格します。

2部から上がってくるチームですが、都竹早が上がるのは確定ですが、2部 DU リーグで1位になった FC 西巣鴨 03 は1部リーグに昇格権を持っていますが…

岸：昇格しません。2部にとどまらせてください。

玉生：ということで、そうなったとき、次にどこに昇格権があるのか、事前にはっきりさせていませんでした。西巣鴨と同じ2部 DU の都江北 C が上がるのではと僕は思うのですが。

小金丸：僕は2部 DU と UO の2位同士、都江北 C と昭和一でプレーオフをやった方が良いのではと思います。

玉生：はっきりさせてなかったんで、そういう意見が出てきて当たり前ですね。

玉山：当該チームなので言いにくいところもあるのですが、1位の西巣鴨さんが昇格を辞退した時点で、同じリーグの2位のチームが同じ権利を有するというのが正当かなと思います。2部 UO の2位と試合をするのはおかしいのではないのでしょうか。

小金丸：例えば2010年度の後期で、1部は2リーグになるということがあり、3ブロックあった2部リーグの、各リーグ2位同士でプレーオフをやって、上位2チームが昇格する形にしようということがありました。京華、巣鴨、立教池袋でプレーオフをして、上位2チームが昇格したという前例があります。その事例と今回と同じなのかなと。

玉生：それは少し違うような気がします。2位同士でやってるので。

小金丸：そうすると西巣鴨さんの立場というか、上がらないからどうなのか。

岸：考え方ですが、西巣鴨と同じグループに入れば2位まで OK かなってというイメージになってしまうことはあると思います。

小金丸：たまたま西巣鴨さんが1位になったのでこういう問題が発生したわけで、この辺はみんなですり合わせた方が良いのではと思います。2部の DU と UO は同等のリーグということなので、お互いの2位となったチーム同士で試合をした方が良いのかなと。時間などの手間はありますが。

玉山：同等のリーグの中で1位が辞退したので、2位が1位の権利を持つということで良いのでは？

小金丸：それも正しい意見だと思います。

玉山：なので、違うところの2位と試合をやる必要性は、私は、ないと思います。

小金丸：2つ意見があるので、みなさんですり合わせた方が良い。

武藤：ここは、せつかく 1 部リーグに上がれるという面白い経験の場が、この試合をすることによって得られるので、そういう経験をさせてあげてもよいのかなと思います。僕は試合をやった方がよいと思います。

〇〇：私は DU と OU の 1 チームずつ行くのが素直な形で良いのではないかと考えます。

玉山：最終的に、2 部全体から 2 チームなのか、DU と UO から 1 チームずつなのかという考え方ははっきりすれば、この問題は解決できると思います。でもこのことに関してはいろんな意見が出ると思うので、議論は平行線だと思います。なので、例えばチェアマンの方から「こうだ」と、示してもらった方がよいのかどうかはわかりませんが、そういう風にしてもらった方がすんなりいくと思うし、これからにも活かされると思います。

〇〇：多数決をとっても駄目ですか。

亀井：そういう性質のものではないと思う。

中塚：今のところで言うと、結論めいたことになってしまいますが、考え方としては 2 部から 2 チームです。これまでも、2 部が 3 ブロックあった時に、一方の考え方として、各リーグの 1 位がなぜ昇格できないのか、という議論があったと思います。それは、それぞれのリーグを構成するチーム数が少なかった場合に、プレーオフをして上位 2 チームが昇格するという考え方できていたからです。2 部はいくつかのブロックに分かれることはあるけど、2 部は 2 部としてこれまでやってきました。

そういう意味で言うと、DU と OU のそれぞれから 1 チームずつ出なければならぬということではありません。これまでの考え方はそういうことです。

〇〇：2 つリーグがあって、それぞれから出ないというのは、やはり違和感を持ちます。チェアマンが言われる「2 部から 2 チーム」というのは、たまたま 2 部リーグが 3 つに分かれていたから仕方がない。2 部から 2 チームという関係上、プレーオフをやったというイメージで僕はいた。2 つのリーグがあるときは 1 チームずつというのが、妥当かなと、しっくりくる。

〇〇：僕は 2 位がそのまま上がるのはやはり違和感がる。昭和一の子に対して説明しづらくないですか？ 勝ち点も昭和一の方が多くとってますし。各リーグから 1 チームというのは違和感がある。

〇〇：仮に今回、こういう形になったんですが、もし 1 位と 2 位の両方が辞退した場合、3 位が上がるのかとなった場合、どうなのかということでもあります。リーグの性質上、そのリーグの 3 位が上がるのか、それとももう 1 つのリーグの 2 位が上がるのか。2 部なんだけれども 2 つに分けるんだから、性質上、そのリーグで戦った 3 位が上がるのが良いと思うのですが。でも 2 部は 2 部で一緒だからとか、勝ち点がもう 1 つのリーグの 2 位の方が上だからとか、ではなくて、リーグとして上位チームが辞退したのであれば、同じリーグのチームに権利が与えられるのではないかと。リーグは独自性がないと。2 部だからではなくて、2 部 DU リーグ、2 部 UO リーグという発想じゃないと変な話になってくるのでは。

山中：いま、2 部リーグが 2 つになってますよね。同じクラブから 2 チーム出ていても、同じ 2 部でも戦わないように別々のリーグに分けていると思います。しかしプレーオフを行うことによって同じクラブの 2 チームがそこに関係してきてしまった場合、八百長ではないですが、そういうことも

考えられる。なので、2部 DU から1チーム、2部 UO から1チームが良いのでは。

玉生：今回もそうですが、今後のことも含めて考えると、都江北 C が上がるっていう方がすっきりして、今後も良いのではと思います。

中塚：事業部長提案がありました。いかがでしょうか。話し合っただけで分かるように、いろんな意見、いろんな考え方があるのはわかりましたし、いずれにも妥当性があります。けどどちらかに決めないといけないわけですが、今後も含めてということですが、事業部長提案の形でよろしいですか？

→ 了解

では西巣鴨が昇格を見送ったことで、同一リーグの都江北 C が昇格権を有します。

昇格しますか？

玉山：すみません。お願いします。

→ 各リーグから1チームずつ昇格することに決定

玉生：これでプリンスリーグの8チームも確定です。

話を巻き戻す形になってしまいますが、西巣鴨の勝敗を抜いた順位表を作ることも考えたんですが、そうすると、西巣鴨の試合は昇格に関係ないから（どうでも）いいとなると、すごくつまらなくなる。なので今のままで行きたいと思います。

1部のリーグ構成はこれで決まりました。2部リーグに関しては、後期においてどれだけ各クラブがチームを出すのかわかっていうのをメーリングリストに流してもらってまとめるしかないですね。

中塚：これはかなり早い段階でやらないといけないですね。

玉生：去年の1部の日程会議は、8月初旬に文京高校でやったと思います。7月いっぱいにもまとめあげれば、1部の日程決めるにあたっては間に合うのかなど。各クラブ、2部に何チーム出すのかを決めてもらい、それで2部のチーム数を確定し、基本的には2部は2グループ構成で行きたいと思います。

リーグ日程ですが、とりあえず9月1日からとしますが、いつも通り8月の終わりからはじめても構いません。後期リーグの終わりは年末までOKとなっています。ただし会議は12月23日です。新人戦などの公式戦も含め、余裕がないので、このような日程にしました。望ましいのは12月23日のDUO会議のときに全日程終わっている形です。今までもそうやってきたので、できれば日程を組む時に、試合が全部終わって23日の会議が開けるような形で考えてもらい、どうしてもない場合のみ31日までOKという形で運営してもらいたい。よろしくをお願いします。

中塚：それではリーグごとの会議日を決めておきましょう。

1部：8月11日（木）19：00～（会場：駒込高校）

2部：8月16日（火）18：00～（会場：駒込高校）

玉生：後期に関してはこれで大丈夫だと思います。来年度についても少しだけ考えてもらいたいのですが、基本的には今年度の形で来年度も進めることで準備をしていきたいと思っています。シーズンに関して、1シーズンなのか、前後期の2シーズンなのかについては前回も前々回も話し合ったとおりです。そこを改めて話し合うのなら、会議でいきなり出すのではなくて、事前にいろいろやっておいていただいて、時間をかけて話し合っただけで、この前の話し合いで確認されました。変えていこうという動きが特段なければ、来年度も前期、後期で進めていこうと考えています。ま

だこの形で1年たっていないわけですから、やってみないとわからない部分もあるでしょう。最低でももう1年はこの形でやってみて、それでまた新しい形がないのかということを考えていけばと、事業部長としては考えます。もし来年度から、こういう形がいいんだ、という意見があれば、なるべく早くから動いてもらって、今度の後期の末の会議でこれについてごたごたするようなことがないようにアクションを起こしてもらえればと思います。

議題Ⅲ. DUO リーグ・スタッフ会議報告&審議

1. リサイクルプロジェクト推進部&地域活動推進部

中塚：先ほどの医・科学のところでも話しましたが、前期リーグは日程が組みにくいこともあり、靴磨き講習会も全然できませんでした。準備はしてくれていました。文京区では神宮司さんが佐藤いちろうさんと連絡を取って、今日（7月17日）できないかと準備していましたが、やろうとなったのが先週のこと、あまりにも間際すぎる。計画的に準備を進めるよう伝えた上で、却下しました。後期リーグは必ず、何らかの方法で靴磨き講習会を企画し、少なくとも後期リーグ終了時までにはどのクラブも1回はやっているという状態を作ってもらいたい。

既に獨協高校の本郷さんのところには話はあるんですね。

本郷：一応8月に。

中塚：それは獨協高校に来てもらうということですか？

本郷：文京区で、ということです。

中塚：このような形で、地域活動推進部担当クラブを中心に、土谷さん、佐藤さんと連絡を取ってもらい、スケジュールリングしてください。試合日程を組む時に合わせてやってもらうとよいでしょう。

佐藤：黒板には、本日各クラブに配布する「回収袋」を貼ってあります。震災後も、当初の計画通り、各クラブから履けなくなったシューズやボールを回収する方向でしたが、原発事故のあたりから、雲行きが変わってきました。はっきりとは言えませんが、今年度について、回収は見送り、靴磨き講習を前面に押し出してやってもらう。そして、初心に帰るというわけではありませんが、部室をきれいにしようというところからやっていただければと思っております。

本日配布する「回収袋」は、靴を入れるのではなくて、こういったリサイクルのプロジェクトがありますというアピール用に使っていただければと思っています。クラブの数だけ作りましたので、帰りに持って帰ってください。DUO リーグはこんなことをやっているんだ、ということ、皆さんに知っていただくためのポスターとしてご利用いただければと思います。

中塚：ということで、前期リーグ開始時の構想からトーンダウンしてしまいましたが、この社会情勢の中で、やれることとやれないことがあります。事前に土谷さんとはかなり濃いメールのやり取りをしましたが、ここではあえてその中身には触れません。とにかく本年度は、靴磨き講習会だけはしっかりやって、つないでいこうということです。

各クラブで「回収袋」を持ち帰り、部員以外の人が見られるようなところに置いてもらい、PRしてください。意識としては「クラブハウスをきれいに」ということできましょう。

靴磨き講習会は、地域活動推進部を中心に、区ごとに、あるいは試合日を中心にリーグごとに、企画してください。また、各クラブが主催する場合も、1クラブだけじゃなく、主催クラブがアナウ

ンスして、他のクラブと一緒にやってやるようになればと思います。

山中：その件ですが、豊島区担当の巣鴨高校です。6月の後半に土谷さんと連絡をとりました。うちはグラウンドがなく、主催できる事業がほとんどありません。あってもお金を払ってどこか遠くに行って、そこで時間を区切って借りてるだけで、あとは他の高校さんにお世話になっています。ですから、借りたグラウンドで講習会を主催することは、現実的には考えにくい。そこで、いま考えているのは、巣鴨高校に来てもらって、試合はできませんけど靴磨き講習会に来ていただきたいと考えています。うちは全員出させます。日曜日などは試合が詰まっているので、ウィークデーの夕方になると思います。土谷さんとはそのような話はしています。途中経過を報告しました。

中塚：そういう形でやればいいなと思います。全てのDUOリーガーが靴磨き講習会を体験するのは物理的に無理ですが、少なくとも、全てのクラブのDUOリーガーが、何らかの形で講習会を体験し、体験した子が各クラブに持ち帰って伝達講習をやらしてもらえればよいと思います。最後に、ボールの分配の話です。ボールは10球あります。各リーグで主催試合数が多いチーム及び、経費負担が多いチームを中心に考えていきたいと思っています。

都文京、筑波大附、江北（2球）、都豊島、昭和一、都竹早、淑徳巣鴨（2球）、西巣鴨

○高校生オブザーバーより

林：会議に出たのが初めてだったんですが、自分達が試合をするためにこのような話し合いが行われているということがよくわかりました。ありがとうございました

金井：自分たちが普段試合をしている環境が、いろんな方々に支えられて成り立っているんだということがよくわかりました。

黒川：今日聞いていてすごく勉強になりました。これからプレーするときには感謝の気持ちを持ちながらプレーしていきたいと思っています。ありがとうございました。

議事録作成：三ツ矢
確認・一部修正：中塚義実